

加賀市（加賀市民病院・山中温泉医療センター）
の医療提供体制の現況と今後の方向性（プラン骨子）

I 加賀市民病院・山中温泉医療センターの医療提供体制の現況

1 南加賀医療圏の医療提供体制の現況

2-1 加賀市民病院の医療提供体制の現況

- ① 病床数 226床（一般病床）
病床利用率 74.3%（H20.7実績）

- ② 標榜診療科
内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科
泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科
循環器科（内科併設）、呼吸器科（内科併設）、消化器科（外科併設）
リハビリテーション科（整形外科併設） 16科

- ③ 医療従事者数（H20.7.1現在）
医師数25名、看護師数149名（うち助産師数6名）

④ 患者数（H20.7実績）

	医師数		入院		外来	
	常勤	非常勤	合計	1日平均	合計	1日平均
内科	7	2.5	1,703	55	3,516	160
外科	3		916	30	882	40
整形外科	4		1,133	37	1,607	73
産婦人科	1	0.2	57	2	337	15
小児科	1	0.2	12	0	85	4
眼科	1		105	3	819	37
耳鼻咽喉科	1	0.2	77	2	510	23
皮膚科	1	0.2	84	3	969	44
泌尿器科	2		418	13	921	42
脳神経外科	2		702	23	431	20
放射線科	1	0.2	0	0	17	1
麻酔科	1		0	0	3	0
合 計	25	3.5	5,207	168	10,097	459

⑤ 4疾病5事業の対応

- がん・・・・・・・・・・ 一部の癌を除いて紹介を受けての対応は可能、一部の特殊な治療を要する時には専門病院へ紹介する。
脳卒中・・・・・・・・・・ 急性期疾患の受け入れが最大限できるようにしている。慢性期に後方施設や病院と連携しているが、ベッドが埋まってきてスムーズな転院が難しくなっている。
急性心筋梗塞・・・・・・ 循環器医が減員となり予定心カテは出来るが緊急心カテが不可。他病院へ搬送している。
糖尿病・・・・・・・・・・ 病診連携は概ね良好、地域へ広がる活動が必要

救急医療・・・・・・・・・・ 夜間・休日の当直医1名（各科1名のオンコール体制）
小児医療・・・・・・・・・・ 常勤医1名、大学や地域開業医の協力あり
周産期医療・・・・・・・・・・ 受け入れ可能、ハイリスクは高度医療施設へ紹介
災害医療・・・・・・・・・・ 災害時マニュアルにより対応
へき地医療・・・・・・・・・・ 該当なし

⑥ 他の医療機関との連携状況（圏域内、圏域外）

- 高額医療機器（CT、MRI、RI等）の検査依頼（紹介）の受け入れは積極的に行なっている。開業医からの紹介患者についても受け入れに努めている。市内の病院、医院から手術等に対する応援依頼があった場合は可能な限り派遣を行なう体制が整っている。

2-2 山中温泉医療センターの医療提供体制の現況

- ① 病床数 199床（一般159床（うち回復期リハ40床）、療養40床）
 病床利用率 72.5%（H20.7実績）

② 標榜診療科

内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科
 泌尿器科、リハビリテーション科

10科

③ 医療従事者数（H20.7.1現在）

医師数9名、看護師数102名（うち助産師数5名）

④ 患者数（H20.7実績）

	医師数		入院		外来	
	常勤	非常勤	合計	1日平均	合計	1日平均
内科	4	2.1	2,434	79	1,745	67
外科	3		856	28	638	25
整形外科	1	0.3	1,166	38	1,674	64
産婦人科		0.1			72	3
小児科	1		14	0	298	11
眼科		0.4			177	7
耳鼻咽喉科		0.4			145	6
皮膚科		0.2			286	11
泌尿器科		0.2			126	5
麻酔科		0.3				
合 計	9	4	4,470	144	5,161	199

⑤ 4疾病5事業の対応

がん・・・・・・・・・・ 化学療法、手術、末期の看護が必要な患者を積極的に受け入れ

脳卒中・・・・・・・・・・ 急性期の受け入れは行っている。回復期リハビリを強化しているため、他院からの患者を受け入れている。

急性心筋梗塞・・・・・・ 当院では対応できず、専門病院を紹介している。

糖尿病・・・・・・・・・・ 病状が落ち着いている患者へはかかりつけ医を紹介。

救急医療・・・・・・・・・・ 夜間・休日の当直医1名

小児医療・・・・・・・・・・ 常勤医1名

周産期医療・・・・・・・・ 常勤医不在となったため、婦人科診療のみ

災害医療・・・・・・・・・・ 災害時マニュアルにより対応

へき地医療・・・・・・・・ 他の僻地病院、診療所へ要請があれば派遣を行なう。

⑥ 他の医療機関との連携状況（圏域内、圏域外）

近隣の開業医などからの検査依頼（CT、MRI）は全て受け入れている。

胃瘻交換目的の患者、開業医からの紹介患者も積極的に受け入れている。

回復期リハビリが必要になった患者は全て受け入れている。

Ⅱ 加賀市 公立病院の医療提供体制の今後の方向性（平成25年度の状況）

1 南加賀医療圏の医療提供体制の今後の方向性

2 市立病院の医療提供体制の今後の方向性

- ① 「現況」と比較しての強化又は縮小のポイント（総括）
- ② 病床数及び病床利用率
- ③ 標榜診療科
- ④ 医療従事者数
- ⑤ 患者数
- ⑥ 4疾病5事業の対応（県医療計画を踏まえた対応）
- ⑦ 他医療機関との連携状況 など



※ 「地域医療審議会」において審議・検討を行い今後の方向性を決定する。

- ◎ 平成19年4月に同審議会より「加賀市における病院事業のあり方」について答申を受けており、今回これをふまえてプラン策定の審議を行う。
- ◎ 前回の審議会委員に公募の市民を含めた2名の委員を追加し12名で構成。
- ◎ 審議会開催予定 平成20年10月
 平成20年11月
 平成21年1月
 平成21年2月（予備）・・・プラン策定目途
- ◎ あわせて随時、市議会病院特別委員会等において報告・意見集約等を行う。